【KSKQ】2020年9月号 No.209



ようしえるらくがき帳

今号から、紙面を刷新します!

1. 表紙に活動紹介 2. ピア・エンジンコラム

3. 支援関連コラム 4. 制度関連コラム 5. 裏表紙はお知らせコーナー

みなさまこんにちは★

コロナの影響で2か月ほど外出できず、自宅待機をされていました。6月末からようやく外出できるようになり、余暇を楽しむ素敵な笑顔が見られました!

久しぶりにカラーもしてイメチェン!とても気に 入ったと満足の笑顔でした。

染める前の写真や、その他の写真はこちらから↓







- 〇『新しい生活様式!?~人と人とのつながりは?~』
- 〇正しく恐れ、正しく向き合う~わかりやすく一緒に学習~
 - ――あいえる協会では、新型コロナの予防に努めています
- ○役に立つ情報を!
 - ――障害福祉の制度について、学んでいます



あいえる協会公式サイトはこちら

『新しい生活様式!?~人と人とのつながりは?~』

わたしの変 あなたの変 まちの変

障害当事者の目線で『変』わったことや

『変』だと思ったことについて書いていきます!

Zoom、テレワーク、リモート・・・などなど。 これらの単語は、私にとって、今年の2月までまったく無縁のことだ と思っていました。それがコロナの影響で、いきなりIT関連が侵入 してきました。そのお陰で、新しい生活様式に!と言われる日々・・・。

まずは、これまで啓発活動のため、大学で講演活動に行っていました。今年はコロナの影響で無理だと思っていましたが、大学が閉校にも関わらず、有り難いことにオンラインで Zoomにて授業の依頼がありました。最初に講義内容(自分史)を撮影し、それを見て貰い、数日後にズームで交流という形で行いました。初めてで少し戸惑いながら、画面越しに一生懸命学生さんとのコミュニケーションを図りました。あまり反応が良くなかったように思いましたが、後からのアンケートでは、しっかり伝わっていたことに驚きました。しかし、Zoom終了後・・・一瞬にして画面から誰も居なくなるというのは、いつもの講演とは全く違うさみしさがありました。

また、他の日には、Zoomで2つの集会に参加することが出来ました。今までなら考えられないことでした。交通手段も、移動時間も考える必要もなく、ただ事務所で待機だけで、実に楽でした。こういう方法ならば、障害者も容易に参加出来ます。

しかし、この参加の仕方は、果たして障害者運動として掲げてきた「社会参加」でしょうか? モニター越しでの参加では、移動する障害者を街で見かけることもなく、淡々と流れてしまい、何ひとつ変わらない社会になるのではないでしょうか? 科学が発達し、新しい生活様式になると、ITを障害者が使いこなす時代もやってくるでしょう。そうなれば、社会の中で、生活の中で、障害者と健常者が関わる機会や協働する機会は、確実に減るじゃないかと、私は危機感さえ覚えます。

コロナの影響で、感染のリスクを気にしながら、生き方を変えなければならない時代が到来しました。障害者の生き方も、I Tや文明を柔軟に活用しながら、世界が広がりますが、やはり改めて「人とのつながり」が欠かせないと思います。 要は、With コロナには、新しい生活様式になっても、『人と人とのつながり』が大切になっていくと感じています。 文責:下村

正しく恐れ、正しく向き合う ~わかりやすく一緒に学習~

新型コロナウイルスの感染の広がりが障害のある人たちの暮らし に大きな影響を及ぼしています。どうしたらわかりやすく学べるか? 利用者・職員ともに一緒に学習しながら、予防に努めています。

① 理解するために… (動画の活用)

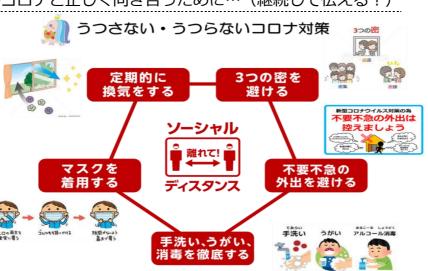
小学生向けの資料「コロナウイルスって何だろう?」の動画をネットで見つけ、分かりやすかったのでみんなで見て学習しました!



② 興味をもって取り組むために…(楽しい・わかりやすいを大切に) 嵐やピコ太郎の手洗い動画を見ながらみんなでノリノリでダンス♪ 感染予防の意識を高めています!



③コロナと正しく向き合うために…(継続して伝える!)



新型コロナウィルス感染防止は今後も続きます。

正しく理解し、皆さんを守るために「できることは何か?」を模索しながら日々向き合っております。

文責:岡田

役に立つ情報を!

あいえる協会では 2018 年度から中堅職員による制度チームを発足し、障害福祉施策、生活保護、障害年金、障害者手帳など、障害者の生活に直結する制度について学び、同時に生活と制度の矛盾点について共有し、それらを法人のみんなに「伝えていく」ことを進めてきました。

「制度」と聞くとかた~いイメージがあり、文章は読みたくない、覚えるのがしんどいなぁと思われやすいので、制度チームとしてはそういったところを何とかフォローしてみんなの役に立つ形を目指しています。

これまで主に実施してきたこととして、職員全体に向けた障害福祉施策のクイズ、各部署に訪問して生活保護制度、障害者手帳を持つことで使えるサービスについてみんなで学習してきており、特にクイズは作る方も勉強になるのでとても大変でしたが良い勉強になりました。実際に改めて学ぶと、「知っているつもりが知らなかった!わかっていなかった!これおかしいんじゃないか!?」ということも出てくるようになりました。

例えばあいえるのメンバーが利用している重度訪問介護、利用するにはいろいろな要件があり、使い方はわかるけど実は細かいところまでみんなよく知らないということがあります。重度訪問介護の利用条件の一つとして、医師の意見書で「麻痺等(四肢欠損、筋力低下、関節拘縮含む)」が2肢以上ないといけないという条件がありますが、医師が変わる等で診断が変わり、これらにチェックや記載がなく使えなくなってしまう事例もあります。これまで必要だからずっと利用していた当事者からしたら、それで生活が脅かされることになってしまうわけです。そういった課題があることを意外と知らないということ

もあるので、利用する当事者みんなが 安心して使える制度とはどういうあ り方なのかを考えていかなければい けません。

制度チームコーナーでは、今後、障 害当事者にかかる制度について深め ていき、情報発信をしていきますので よろしくお願いします。

文責:吉田



8

日

発

お知らせコーナー

みんなのぬくぬく~交流スペース~

■次回ぬくぬくスケジュール■

新型コロナウィルス感染拡大防止のため休止中です。新しい生活様式での開催を目指しています!





★ヘルパーさん大募集★

時給:1280円~

勤務地:住吉区・西成区の一部

勤務日:週1日~OK!※応相談!

連絡先: ヘルプセンター・ホップ 住吉区長居1-3-19和光第3ビル3F

TEL: 06-6694-5146





先輩ヘルパーの インタビュー記事はこちら

男性・女性・学生の方・主婦(夫)の方・未経験者大歓迎です! お気軽にお問い合わせください!

住吉区地域自立支援協議会

■障害者の暮らし何でも相談■

日程:9月16日(水) 11時~14時

場所: 住吉区役所

*詳しくは住吉区地域自立支援協議会の HP でご確認ください

編集人・発行人

■編集■

社会福祉法人あいえる協会ライフ・ネットワーク(生活介護事業所) 〒558-0004 大阪市住吉区長居東 3-8-25 ふぁみーゆ長居 II 1 F TEL:06-6607-8260 FAX:06-6607-5503

郵便振替口座 00960-5-137458 年間購読料 600円(定価 100円)

■発行人■

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 F

社会福祉法人あいえる協会

法人本部

ヘルプセンター・ホップ 自立生活センター・まいど グループホーム・あいえる グループホームほんわか ウィル

ライフ・ネットワーク ピア・エンジン(分所)